



公益社団法人 福岡貿易会
FUKUOKA FOREIGN TRADE ASSOCIATION

FUKUOKA
FOREIGN
TRADE
ASSOCIATION



第32号

福貿ニュース

福岡貿易会情報誌

福貿倶楽部(小規模交流会)を開催しました

福岡貿易会では、会員相互の親睦、交流を図るため、様々な交流・懇談会事業を実施しています。

大規模な会員交流会は春と年末の年2回開催していますが、これとは別に、企業経営者・幹部だけでなく、企業の実務者同士の交流・懇談の場として、小規模の交流会「福貿倶楽部」を定期的に開催しています。

この小規模交流会は、お招きしたゲストから国際ビジネスや国際・国内情勢などに関わる最新の情報をお聞きする場として、また、異業種間の交流・懇談・情報交換等ができる場として会員の皆様に好評です。

15回目となる今回は、6月25日(木) 18時から福岡空港国内線ターミナル内の会議室にて、福岡空港ビルディング株式会社常務取締役 松家 繁様をゲストにお招きし、現在、国内線ターミナルビルの再整備が進行中の福岡空港の現状・課題や今後の空港全体の整備計画などについてお聞きしました。参加者は、九州・福岡の経済に大変重要な役割を果たしている福岡空港の今後の整備計画に、興味深く聞き入っていました。

セミナーの後は、国内線第2ターミナルビル4階送迎デッキの人気スポット、ピアテラス「ピアエア」に移動して交流会をスタート。同会場は、予約がなかなか取れないとの評判どおり当日はほぼ満席状態。会場のあちこちで名刺交換の姿やビールジョッキを傾けての懇談風景が見受けられ、参加者は、空港の夜景をバックに楽しい時間を過ごしました。

会では、このような小規模の交流会を今後も定期的に開催します。開催日は別途お知らせします。会員の皆さま、奮ってご参加ください。



通常総会・交流会を開催



5月24日（金）17:00から、第49回通常総会をホテルニューオータニ博多で開催しました。総会には約100名の会員の皆さまにご出席いただき、事務局から、平成25年度の事業報告と収支決算報告、役員の選任等の議案説明がなされ、提案された議案については、全会一致で承認されました。また、議案の審議後には、事務局から今年度の事業計画及び収支予算等について報告・説明が行われました。



理事・監事の皆さま

総会の終了後、引き続いて会員交流会を開催。福岡市長を始め、国、福岡県などの行政機関のほか、在福の外国公館や貿易機関からも、多数来賓としてご参加いただきました。

来賓を代表して高島福岡市長からご挨拶をいただいた後、本日のご来賓及び新規ご入会の会員様（当日ご参加の2社）のご紹介の後、小島副会長のご発声により乾杯となりました。

来賓の皆さま



懇談の様子



新会員のご紹介
左：福岡市漁業協同組合
唐泊支所 様
右：(株)近畿日本ツーリスト
九州福岡支店 様

また、交流会では、現在、東区香椎照葉地区（アイランドシティ）に建設中の新こども病院の敷地内に整備される患児家族滞在施設「ふくおかハウス」の建設募金のPRも行われました。

会場では、「病気と闘う子どもたちとその家族を社会全体で支える」本募金の趣旨に賛同された多くの会員の方々から、たくさんの寄付をいただきました。

この場を借りて厚くお礼申し上げます。



ふくおかハウス
建設募金のPR



土屋副会長の締めのご挨拶



恒例の角川副会長の博多手一本

新人・新任者向け貿易研修会を開催

毎年恒例の、初めて貿易業務に携わるの方々を対象とした新人・新任者向け貿易研修会を今年も2部構成、3日間の日程（第1部：講義、第2部：視察見学会）で開催しました。

5月12日（月）、13日（火）開催の第1部では、「貿易実務入門講座」と題し、講義・演習形式で実施しました。

講師には、わかりやすい説明と豊富な経験談で定評のある、国際法務株式会社代表取締役の中矢一虎氏をお迎えし、貿易取引の仕組みなどの座学だけでなく、輸出入取引の実例を元にした演習形式による学習など、実務に即した内容を受講することができました。

受講生からは、「業務にすぐに応用できる知識を身につけることができた」「具体的な事例が多く、実際に書類を作成したりと実務に沿った内容で非常にためになった」「2日間で貿易実務の基礎から応用まで学べ、大変ためになったほか、個別の質問にもしっかりと対応いただきありがたかった」などの声が聞かれ、大変好評でした。

第2部の施設見学会は5月21日（水）に開催。午前中は、福岡空港合同庁舎にて門司植物防疫所福岡支所、福岡空港税関支署、福岡エアカーゴターミナル（株）の方から説明を受けた後、植物検査場や貨物ターミナルなど空港内の施設を見学しました。

午後からは博多港に移動し、昼食を挟んで福岡市港湾局、博多税関支署等から説明を受けた後、博多地区国際貨物センター（大型X線検査場）や香椎パークポートとアイランドシティのコンテナターミナルを見学しました。

第2部の施設見学では、発展を続ける福岡空港と博多港の実情を体感することができ、参加者からは、防疫や物流、税関など、多くの現場を直接見ることで有意義だったとの感想が聞かれました。



アイランドシティコンテナターミナルにて



昼食時の一コマ
（名刺交換しながらの
参加者同士の交流も
貴重です）



香椎パークポート管理棟屋上から荷役状況を見学

福岡貿易会では、このような実務に即したセミナーや外国語講座を多数開催しており、今年も多くのセミナーを企画・実施します。

各セミナーの開講日の約一か月前に受講生を募集します。今年度のセミナーの年間計画は福貿ニュース第31号P. 7に掲載しておりますので、スケジュールをご確認のうえ、ぜひご参加ください。

特別寄稿

福岡空港国内線ターミナルビル再整備計画について



福岡空港ビルディング株式会社
代表取締役社長 麻生 渡

1. 背景

福岡空港は、現在、国内線27路線、国際線20路線が就航し、航空会社は国内線12社、国際線21社が乗り入れる非常に利便性が高い空港です。平成25年度の年間旅客数は約1930万人に達し、これまでの過去最高である1968万人に迫る高い実績となっています。

平成25年度の発着回数は、国土交通省が「円滑に運用できる目安」としている14万5千回を大きく上回る17万回超となっており、今後も国内・国際共に増加する見通しとなっています。このような状況の中、国土交通省では、混雑緩和対策の一環として、平成25年度に国内線側平行誘導路の二重化事業に着手しました。

当社では、この平行誘導路二重化事業に伴い、既存の第1、第2ターミナルビルの移転（セットバック）及び、既存ターミナルビルの内部改修などの大規模なターミナルビル整備を計画しております。

本整備に関しては、平成24年11月より設計に着手し、約1年を経て昨年12月に基本設計が完了しました。本稿では、新しくリニューアルする福岡空港国内線ターミナルビルの基本設計概要について紹介します。

2. 福岡空港国内線ターミナルビル基本設計における特徴

本計画では、安全性、利便性、快適性の更なる向上と収益性の拡大、環境に優しいターミナルビルの実現をコンセプトに設計を進めています。主な特徴は、下記の通りです。

(1) ターミナルビルの一体化

福岡空港国内線ターミナルビルは、昭和44年4月の第1ターミナルビル建設後、航空旅客の需要増加に応じて、第2ターミナルビル、第3ターミナルビルと増改築を繰り返してきました。

そのため、現状、地方路線を中心に運航する第1ターミナルビルと幹線空港を中心に運航する第2、第3ターミナルビルが別の建物に分割されており、乗り継ぎする旅客や到着後、他の交通機関を利用する旅客にとっては、必ずしも利便性の良い施設とは言えませんでした。

本整備では、第1、第2ターミナルビルのセットバックに合わせ、全てのビルを一体化し、それぞれの出到着機能を集約することで利用客にとってシンプルかつ分かりやすいターミナルビルとなります。



〔滑走路側から見たターミナル全景〕

(2) スピーディーかつ利便性の高い動線計画

福岡空港は、福岡市中心部である天神まで約6km・博多まで約3kmと市街地までの距離が非常に近いという強みから、地下鉄を利用して来港する旅客は約半数を占めています。

このような特徴を踏まえ、本計画では、地下鉄改札口と1階航空会社チェックインカウンター及び2階出発口を最短ルートでダイレクトに移動できるエレベーター・エスカレーターを配置し、これまで以上にスムーズかつ利便性の高い動線計画としています。



〔地下鉄改札フロア（地下2階）から見たターミナルビル内の吹き抜け部分〕

(3) 出発・到着旅客動線の完全分離

空港の使命であるセキュリティの強化を目的とし、メインの出発機能となる搭乗待合室を2階に、到着コンコースを3階に配置し、出到着動線を完全に分離することにより、高い安全性を確保します。

これにより、2階の搭乗待合室では十分なスペースが確保できるため、搭乗前にゆっくりと寛ぐことができ、到着した旅客は、滑走路を一望できる3階コンコースを通過して、1階の到着ロビーへと向かって行くことができます。

(4) 賑わいのある商業施設

既存の商業施設を一新し、店舗面積は現状の約1.3倍に拡充することで、利用客のニーズに合った特色のある店舗や魅力的な商品・サービスを取り揃えていきます。

また、ターミナルビル中央の屋上部分には、デッキや屋上緑化を施すことで、利用客や地域住民の方々でも気軽に足を運ぶことができる憩いの場としての空間を創出します。

(5) 福岡らしさを彩る歓迎演出

福岡へ到着される旅客に対し、福岡の賑わい、伝統、文化を取り入れた“福岡らしさ”を感じる歓迎演出を随所に表現していきます。

(6) 環境性・機能性への配慮

今回の大規模改修に合わせ、環境・機能面でも大幅な向上を目指しています。

一例として、ターミナルビル屋上を利用した太陽光発電設備（メガソーラー）の導入、井戸水や雨水を有効活用した節水対策、また、カーブサイドの外壁面には壁面緑化を施すなど自然環境への配慮を行なっています。

機能面では、全ての利用客が安心して利用できるユニバーサルデザインの考え方にに基づき動線や施設配置を計画しています。また、吹抜け等の設置により見通しがよく、シンプルな施設構成にすることで、自分の居場所や行きたい場所が、直感的に認識できる、わかりやすい計画としています。



〔道路側から見たターミナルビルの外壁（壁面緑化）〕

3. 今後の整備予定

本年1月より実施設計に着手しており、平成26年12月の設計完了を目指しています。

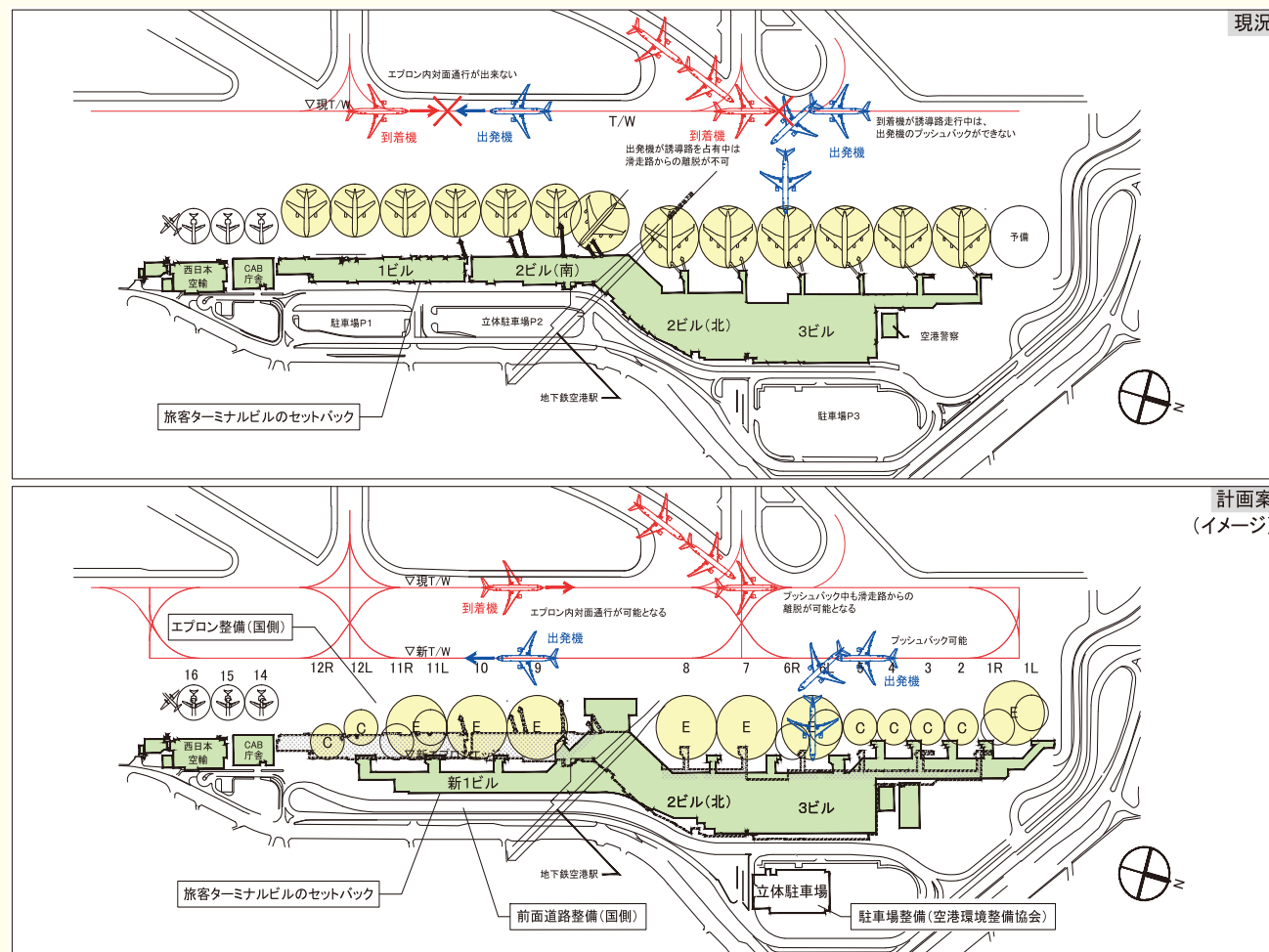
その後、平成27年度から平成30年度の4ヵ年に亘り、国の実施するエプロン、構内道路整備工事と調整を図りながら段階的に整備を行なっていきます。

一日に約5万人が行き交うターミナルを運営しながらの改修工事となることから、非常に困難が予想されますが、利用客の安全を第一に考え、できる限りご不便をお掛けしない工事計画を立て、進めていきたいと考えています。

4. おわりに

今後、福岡空港については、本東側再整備に加え、滑走路の増設についても並行して検討が進められており、当社にとっても大きな変革の時期となります。

このような状況を前向きに捉え、本整備を通じ、地元福岡並びに、九州・アジアの玄関口として相応しい空港ターミナルビルを実現することで、地域の発展に貢献して参ります。



〔平行誘導路の二重化及びターミナルビルセットバックイメージ〕

会員便り

「平成二十三年 晩秋 イスラエル・ トルコ紀行 ④」

（株）人参町ホーム 代表取締役

池田 憲和



福岡貿易会主催のイスラエル・トルコ経済視察団（平成23年10月実施）に参加された会員から寄せられた紀行文（続編：その4）です。

四、「独眼竜ダヤン」

昭和二三年（一九四八年）五月、イスラエル建国に一斉に反発したアラブ諸国は雪崩を打ってイスラエルに攻め込んできた。第一次中東戦争の勃発である。この戦いで、当初、劣勢を伝えられたイスラエル軍は意外な健闘を見せ、逆に敵軍を撃退、建国を既成事実とすることに成功する。このとき、イスラエルの勝利に大きく貢献したのがモーシェ・ダヤンである。

ダヤンはこの戦いに先立ち、連合国の一員として参戦した第二次世界大戦中の戦傷が元で片目を失明し隻眼となっていたことから、日本では「独眼竜ダヤン」の異称で知られている。独眼竜とは言うまでもなく、戦国の英雄、「独眼竜・伊達政宗」に因んだものであろうが、遠く、イスラエルの将軍が日本でそう持てはやされたのには訳がある。

建国後、ダヤンが早い時点で外遊先を選んだのが日本で、飛行機のタラップに降り立った彼の姿を見て、日本の多くのマスコミが「独眼竜」と呼び持てはやしたが、そのダヤン将軍が来日後、精力的に会談を重ねて回ったのが旧帝国軍人らであった。彼が知ろうとしたもの。それこそが、「なぜ、日本は負けたのか？」ということであった。

＊

日本では勝った戦いが持てはやされるが、欧米では負けた戦いにこそ学ぶべきものがあると言われる。思えば、日本では信長も秀吉も「勝った戦い」ばかりが有名だが、ナポレオンで有名なのは「ワーテルロー」など負けた戦いなのである。

つまり、「業績好調の会社からではなく、倒産した会社からこそ学ぶべきものがある」と言えるのだろう。

その結果、ダヤンが得た結論は何か？それ即ち、「国土をいたずらに大きくすることの愚」であった。戦前の日本人は無邪気なまでに国土拡張に狂奔したが、考えてみれば、国土が広がればそれだけ防衛線も広がるのである。

限られた人口で広がった防衛線を守備するのは現実的ではない。また、国土が広がれば、それだけ周辺諸国と接する国境も増えるということであり、それだけ複雑な利害関係を抱え込まなくてはならない。そして、何より小国であればこそ周辺諸国も「いつでも潰せる」と思うから眉をそぼだてなくとも済むということである。

＊

もし、イスラエルが周辺諸国を併合するような大国になってしまえば、近隣諸国はもとより、アメリカ、ソ連も支援対応の仕方も変わってきただろう。つまり、この、日本を反面教師とした不拡大方針こそが、今日のイスラエルの対外的基本原理となっているのであり、それが広大なシナイ半島などの占領地返還に繋がっていることを思えば、イスラエル外交の根底に流れている「国是」をよく実感することができるであろうか。

もっとも、どのような国家も一旦、血を流して奪い取った物を無償で返還することに快く思わない者が出るのもやむを得ない話で、最近ではイスラエルの中でもこういう意見が無視できなくなっているようではあるが。

ダヤンは、第三次中東戦争の直前に国防相に任命され、昭和四八年（一九七三年）の第四次中東戦争でも再び国防相として戦争指導にあたるも作戦の準備不足などの不手際を批判され辞任。その後、ベギン政権の外相を務めたが、意見対立によりに辞任、二年後の昭和五六年（一九八一年）、没している。



「エルサレム 君に見せたし 古都の秋」 梁庵平太

上海通信

皆様こんにちは。今年4月から新しく（公社）福岡貿易会の上海代表処に赴任しました奥田と申します。これから任期期間中、この「上海通信」を担当させていただきます。中国で今起こっている事象を中心に、現地の生の情報や感想をお届けしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

＊

さて、私は、5月27日に行われた福岡貿易会の総会に合わせて、赴任後初の一時帰国をしました。その際、最も多く受けた質問は、「中国は大丈夫か？」という質問でした。ちょうどその時、新聞等では、上海の在留邦人数が減少しているというニュースを報じていました。上海の在留邦人数は、2013年10月1日時点で、前年度の約17%にあたる9,700人が減少し、約4万7,700人になっていました。こうしたことも念頭に発せられた質問だと思いますが、「大丈夫か？」は、何に対して心配していただいているのか今一つ把握できず、返答に詰まってしまうことになりました。

中国生活に関して「大丈夫か？」と心配されることは、①日中関係悪化による影響②PM2.5などの環境汚染③爆破テロなど治安面の不安という三つに大きく分けられると思います。在留邦人数減少の原因として多くのマスコミが指摘していた①日中関係悪化による影響という点についてですが、実は上海に赴任してからあまり感じたことはありません。上海という土地柄があるのかもしれませんが、基本的に上海に住む多くの中国人は親日的で、ビジネスマンだろうが、役人だろうが、お店の店員だろうが、頭ごなしに日本人を拒絶するような態度にはまだ遭っていません。一度は、タクシーの運転手に「あんな小さな島のことなんてどうでもいいから、市民の暮らしを良くしてほしいんだよ。運転手を一生やっても家も買えないんだぞ」と訴えられました。今の中国には、毛沢東を崇拜する人もいれば、鄧小平こそが英雄と考える人もいます。アメリカ好きがいれば、日本好きがいて、韓国好きもいます。情報統制という制度的な問題とは裏腹に、個人の価値観は多様化し、様々な考え方の人が同居しているように思います。価値観が多様化しているのは日本も同じ。意見の衝突はあったとしても、それが普段の生活がままならなくなるほど暗い影を落とすというのは考えにくいと思います。

むしろ、不安なのは②の環境汚染です。上海でも、昨年末PM2.5の大気1立方メートルあたりの値が600マイクログラム以上を記録しました。ここまで

上海代表処 所長

奥田 聖



空気が悪いと、さすがに身体には異常を来してきます。子供なら尚更です。多くの日本人が帰国したというのは、実はこうした子供の健康に対する影響を心配した駐在員の家族が帰国したことによるところが大きいのです。ただし、年中こうした高い値を示しているわけではありません。ここのところPM2.5の値は100前後で推移しています。もちろん日本よりは悪いのは確かですが、耐えられない値ではないと思ってしまうのは、既にこちらの生活に慣れてきた証拠でしょうか…。

ただ、最も現実的に危険性が高いのは、むしろ③の治安面での不安かもしれません。北京の天安門広場に自動車が入り込んで自爆テロを起こしたのは記憶に新しいですが、その他にもウルムチや昆明など、多くの地でテロ事件が発生しています。しかも、標的は以前のような警察や政府機関といったものから、一般市民を巻き込んだ形に広がっています。そのため、5月21日に習近平国家主席やプーチン大統領らが出席したアジア信頼醸成措置会議（CICA）が上海で開催された際には、上海中に厳重な警戒態勢が敷かれました。駅や空港、地下鉄、バスターミナルといった人が多く集まる場所では、入場の際に厳しい手荷物検査や爆破物の検査が行われ、公共機関や公立学校が自主的に休日とする措置も取られました。しかし、そうした当局の対応をあざ笑うかのように、翌22日早朝に、ウルムチの朝市で31人が死亡する爆破事件が起きました。標的が一般市民になると取り締まりが困難になることは想像に難くありません。幸い上海では、今のところ特に大きな事件は起こっていませんが、今後不安が残る点だと思っています。

＊

このように、中国生活において不安があるとすれば、一般の中国市民と同じレベルの不安だという気がします。ただ、在留邦人の減少は、他に円安や人件費の高騰による経費の増大という面もあります。これらは輸出用の製造拠点としての中国戦略を描いている企業には非常に痛手です。しかし、人件費の高騰は、消費力の上昇も意味します。円安は、中国での販売に対して有利に働きます。したがって、輸出用の工場は、内販の道を模索し、国内向け営業を強化しようとしています。国内営業の強化には、日本人駐在員より、社員の現地化を進め中国の国情に合った営業を展開することが重要です。「いかに作るか」から「いかに売るか」。在留邦人の減少からは、こうした日本企業の対中戦略の変化も見えてとれます。

第64回 福貿会ゴルフコンペを開催

4月24日（木）、第64回ゴルフコンペを伊都ゴルフ倶楽部で開催しました。

当日は絶好のゴルフ日和の中、前日に行われた「福岡・ラオス友好協会総会・交流会」に出席されたラオス人民民主共和国のケントン・ヌアンタシン駐日特命全権大使もお招きし、和やかな雰囲気の中、総勢38名での春のコンペとなりました。次回は秋に開催予定です。奮ってご参加ください。



第13回 貿易英語ひとくちメモ

曖昧表現を封印し、具体的な英語表現をしましょう!

末次通訳事務所 代表 末次 賢治

海外企業との商取引では、日本式の「以心伝心」は通用しません。以前から云われているこの心得を、あなたは自社の貿易でのコレボンに確実に活かしていっていますか？

1.「至急、船積書類を送付ください」：この依頼を海外シッパーに発する場合、皆さんは、どのように英語で表現するでしょうか？

海外企業からなかなか返事や応対が得られない、との声を聞く事があります。その企業が海外企業に送付している英語メールを拝見すると、英語表現の問題点が見えてきます。

上記1の場合、[Please send us the shipping documents urgently]とか、[Please send us the shipping documents at your early convenience.]と云う場合が多いのではないのでしょうか？尤も、船積書類は早く輸入側に送付しないと都合が悪いので、輸出側も、早々にこれを送付するでしょうが、他のモノ、例えば、見積もり価格やサンプルなどの送付を至急に要請する場合でも、at your early convenienceとかurgentlyといった「至急」の表現では不十分です。ここは、日時を明記して、相手に対して時間を指定してコレボンを行うべきです。

例：[Please send us the shipping documents by July 7, 2014 for our smooth customs-clearance purpose.] 下線の表現は、送付してもらう時期を指定し、波線の表現は、その要請理由を明記しています。こ

れは、ちょっとした工夫なのですが、コレボンでの大事な書き方のコツです。つまり、要請動作の時間指定、として、要請理由です。この2つの明記が無いと、海外企業はこちらの云う通りに、動きません。「至急」とか「出来る限り早く」は辞書に、urgently, ASAP(as soon as possible)やat your early convenienceと記載されていますが、そうした表現でなくて、日時を明記するほうが、より良いお取引が出来ます。

日本人は文化的に、相手側に対して、日時を指定して、その理由も明記してきちんと要請する事が不得手でしょうか、海外企業とのやり取りに於いては、その文化的特性を捨てて、細かく指定するように書きましょう。これは商談やプレゼンテーションでもそうです。

2.「貴社の仰る事は分かります」という場合も、数字を使いましょう。一口に理解といっても、100%の理解もあれば、8割程度の理解もあります。それを一様に単に[We've understood your pricing policy.]とせずに、全面的に良く理解できた場合は、[We've 100% understood your idea.] / [We've 85% understood your pricing policy.]等と数字で当方の状況を示せば、より具体的な商談ややり取りが出来る筈です。

これを踏まえ、次回は、絶妙な商材紹介法をご案内します：お尋ねは何なりとどうぞ。

(fuku@eos.ocn.ne.jp 宛 迄) See you next time! Thank you!!

新 会 員 の ご 紹 介

株式会社近畿日本ツーリスト九州 福岡支店

代表者：支店長 南 泰行

所在地：〒812-0024 福岡市博多区綱場町2-21 福岡MDビル8階

TEL:092-272-4891

FAX:092-272-4901

MAIL:fukuoka@or.kntk.co.jp

URL:http://www.kntk.co.jp/

主 要 業 務：旅行業

国内・海外旅行、国際（訪日）旅行の企画・販売・運営

イベントコンベンション、教育旅行などの企画・販売・運営

個人旅行の商品企画、店舗販売、インターネット販売など

当社の特色：「近畿日本ツーリスト九州」は近畿日本ツーリストグループにおける九州エリアの会社で、「人にやさしく、仕事に厳しく」をモットーとしています。当社のビジョンは、旅行事業を通じて地域密着に徹し、お客様の声に販売ラインおよびスタッフがいち早く反応し、お客様に愛される地域に根差した企業を目指していくことです。当社では、グループの持つリソースを活用することで、お客さまのウォンツに対するご提案や事業目的の達成、価値向上に貢献してまいります。また、地域の観光振興には、各種スポーツ大会の実施や誘致、ディスティネーションキャンペーンへの積極的な取り組みなどにより、地域への誘客を図ってまいります。私たちは、お客様に、感動・笑顔・信頼の「物語」を創造していきます。



福岡市漁業協同組合 唐泊支所

代表者：運営委員会会長 板谷 克己

所在地：福岡市西区大字宮浦273-12

TEL:092-809-2311 FAX:092-809-1205

MAIL:Karatomari01@fukuokashi-gyokyo.com

URL:http://www.karatomari.jp/

主 要 業 務：漁業生産物の販売、加工及び購買事業

当社の特色：組合事業で牡蠣の生産を手掛け、ブランド牡蠣『唐泊恵比須かき』を立ち上げ、2012年「かき日本一決定戦」にて準優勝を獲得。安全安心を第一に国からの基準と生食用かきの自主衛生検査8項目とノロウイルス検査を毎月実施しています。近年では国際基準の牡蠣の生産に着手し、現在取引のある香港に加え、スリランカ、マレーシア、インドネシアへと出品を予定しています。

福岡貿易会からのお知らせ

海外視察団の派遣について

福岡貿易会では、海外市場開拓の一環として、毎年、海外の国・地域へ経済視察団を派遣しています。

今年は、11月6日（木）から8日間または10日間の日程で、北イタリアへ視察団を派遣します。（主な訪問予定都市：ミラノ、トリノ、フィレンツェ、ベネチア）

今回の視察のテーマは「食・ファッション・観光」とし、現地経済や成熟した市場の現状、観光資源の活用状況等を視察するとともに、現地企業の特色ある、独創・先進的な取り組みを学び、会員企業の今後の国際ビジネスの促進・拡大（ブランディング、市場開拓、販路拡大など）を目指します。

行程、参加費用等の詳細は別途お知らせしている団員募集のご案内をご覧ください。ご参加をお待ちしております（会員以外の方の参加も可能です）。



福岡貿易会からのお知らせ

これからのセミナー

会員の皆さまには別途お知らせしますが、会員以外の方の受講も可能です。

○貿易実務講座 ～初めての海外販売戦略編～

※ 福岡商工会議所と共催

【日 時】平成26年8月20日（水） 9:30～16:30
【会 場】福岡商工会議所ビル4階 407会議室
【講 師】中矢一虎法務事務所（司法書士・行政書士）
国際法務株式会社 代表 中矢一虎 氏
【内 容】EPA/FTAの理解、海外新規顧客開拓と交渉（見本市・インターネットの活用・交渉、船積・荷受け、トラブル対処）など
【受講料】会員3,000円 一般6,000円

○外航貨物海上保険セミナー

【日 時】平成26年8月22日（金）14:00～16:30
【会 場】福岡商工会議所ビル2階 第2研修室
【講 師】三井住友海上火災保険株式会社
九州企業営業部第三課
小柳 真由美 氏 西山 瑛里 氏
【内 容】外航貨物保険の概要、事故発生時の手続き など
【受講料】無料

○貿易英語講座

【日 時】平成26年9月25日（木） 9:30～16:30
【会 場】福岡商工会議所ビル4階 404・405会議室
【講 師】(株)アースリンク 代表取締役 曾我しのぶ 氏
【内 容】主要貿易用語、英単語、イディオム、場面毎の基本表現 など
【受講料】会員3,000円 一般6,000円

○輸出入金融セミナー

【日 時】平成26年9月26日（金） 9:30～16:30
【会 場】福岡商工会議所ビル4階404・405会議室
【講 師】(株)アースリンク代表取締役 曾我しのぶ 氏
【内 容】代金決済方法（信用状の簡単な流れ）、外国為替 など
【受講料】会員3,000円 一般6,000円

○英文契約書講座（基礎編）

【日 時】平成26年10月7日（火）～8日（水）
9:30～16:30
【会 場】福岡商工会議所ビル4階 404・405会議室
【講 師】中矢一虎法務事務所（司法書士・行政書士）
国際法務株式会社 代表 中矢 一虎 氏
【内 容】英文契約書を読み解くコツ、失敗事例から学ぶ国際取引及び演習、貿易実務に必要な各種契約の知識、グループワーク演習 など
【受講料】会員6,000円 一般12,000円

○食品輸入実務者セミナー

【日 時】平成26年10月
【会 場】福岡商工会議所ビル
【講 師】福岡検疫所
【内 容】食品輸入実務者を対象にタイムリーな情報を提供
【受講料】無料

○貿易実務講座実践編 ※福岡商工会議所と共催

【日 時】平成26年11月20日（木）～21日（金）
9:30～16:30
【会 場】福岡商工会議所ビル4階 404・405会議室
【講 師】(株)アースリンク代表取締役 曾我しのぶ 氏
【内 容】実務実験1～2年の方を対象とした貿易取引実務全般の確認、通関・代金回収に関する書類作成演習
【受講料】会員6,000円 一般12,000円

夜間語学講座

好評の夜間語学講座は10月から3つのコースを開講します。各自のレベルにあわせて受講できます。会場は西日本ビル5階（中央区天神1-10-17）で、時間等は以下のとおり。会員以外の方の受講も可能です。

○ビジネス中国語会話初級編（全20回）

毎週火曜日 19:00～20:30

○中国語会話初心者編（全20回）

毎週火曜日 19:10～20:40

○ビジネス英会話中級編（全15回）

毎週木曜日 19:00～20:30

会議等のお知らせ

○第4回企画推進委員会を開催します。

昨年度発足した、会の運営等に関してアドバイス等を行う会員参画型の組織「企画推進委員会」の第4回目の会議を開催します。

この会は、自由な発想と定数の縛りのない柔軟な組織で活動しており、会合後の交流会も楽しみの1つです。参加は自由となっております。会員の皆さまのご参画をお待ちしております。

【日 時】平成26年8月21日（木）18:00～19:00
【会 場】福岡貿易会事務局（福岡商工会議所ビル7階）
【内 容】会員交流会について（年末、小規模交流会…）など

※上記に関するお問い合わせは、福岡貿易会事務局
（☎452-0707）までどうぞ。